

第38回 沖縄県中学校新人ダブルスバドミントン選手権大会

I 運営規定

- (1) トーナメント方式で行う。
- (2) 1日目の進行は、男子5回戦(試合番号133)、女子は3回戦(試合番号432)まで行います。
(ただし、1日目最終コールは6:00頃予定)2日目の進行は、決勝まで及び、表彰式・閉会式を行う。
- (3) 男子はすべて正式ルール、女子6回戦(試合番号544)まで15点(上限20点)3ゲームマッチで行う。その後、決勝戦まで21点(上限30点)3ゲームマッチの正式ルールで行う。
- (4) インターバルは、正式ルールでは、11点で1分以内、ゲーム間に2分以内でとることができる。15点ゲームでは、ゲーム間に2分以内でとることができる。
(※主審は、インターバルをタイマーできちんと計測すること。)
- (5) 連続試合は15分以上の間隔を空ける。
- (6) 主審は敗者審判で行う。本部より審判用紙をコートへ持って行くので敗者はコートから離れず審判席で待機すること。また、線審及び得点係は各対戦校から1名ずつ出すこと。
- (7) 朝のメインアリーナでの練習は認めない。
- (8) 試合のコール後、3分以内にコートに入らない場合は、棄権とみなすこともある。
- (9) 試合中の汗拭きは、原則としてインターバル時しか認めない。
- (10) 水分補給は原則としてインターバル時に認める。また、スクイズボトルを使用すること。
- (11) コーチングシートは、監督、マネージャー又はコーチとし、チェンジエングの際、監督、コーチ又はマネージャーも移動すること。また、コーチは教員又は県中体連の登録者とする。これ以外の者のメインアリーナでの応援を禁止する。
- (12) ゲーム中の監督、コーチのアドバイスをラリー中でなければ認める。ただし、試合の遅延行為にならないようにすること。また、相手選手が萎縮するようなアドバイスであってはけない。
- (13) インターバル時には、アドバイスを受けることができる。ただし、ゲーム間及び3ゲーム目の11点でのアドバイスはチェンジエングをしてから受けること。
- (14) インプレイ中の応援はコーチングシート及び応援団ともに認めない。
- (15) メインアリーナ1階フロアへは招集されてから入場すること。
- (16) 競技ウエアーは、日本バドミントン協会審査合格品(但し、ハーフパンツ着用の場合は、膝にかからないもの)とする。
- (17) スパッツはパンツまたはスカートからはみ出さないように着けること。
- (18) ソックスは、くるぶしが隠れ、白基調とする。
- (19) ゼッケンは上着の背面中央部に右図のような規格で学校名、姓を
黒または濃紺色の楷書で明記すること。同姓の選手がいる場合は、
名前の頭文字を記すこと。ゼッケンの無い者は没収試合とする。
紙のゼッケンは認めない。4点留めとする。

15	○○○中 姓名
20	
cm	
- (20) はちまき、ヘアバンド、リストバンド、サポーター、テーピング
は認めるが、ブレスレット(アンダーラップ)、ネックレス等の装飾品(スポーツ用品等
も含む)及び、マスコット等を身につけてのプレーは認めない。
- (21) 中学生としてふさわしくない身なり(まゆ等)・服装及び、行為をしたものは、協議の上没収試合とすることもある。
- (22) サブコート使用の際は最後のブロックからサブコートで行います。注意して下さい。

II 注意事項

- (1) 事故防止及び試合進行をスムーズに行うため、アリーナ及び通路、玄関ロビー、空コートでの練習は認めない。
- (2) 体育館シューズで外に出ないこと。
- (3) 昼食時間は設けないので、各自で試合の進行をみながら取ること。
- (4) ゴミは必ず持ち帰ること。なお、ゴミ袋は本部でも準備します。
- (5) 応援席での飲み物、食べ物の片付けを徹底すること。(こぼしたものの拭き取りなど)
- (6) 貴重品やラケット等のバドミントン用品の管理は各学校及び、各自で徹底してください。

III その他

- (1) 県強化選手選考会を兼ねる(ベスト4以上)。尚、選考され、強化選手に同意した選手は、月1回の沖縄県中学校バドミントン競技部主催の県合同強化練習に参加すること。
※県強化選手のメンバーより、沖縄県選抜チームを結成するために選手を選出し、12月熊本オープン大会、1月九州合宿、2月九州中学生大会、3月全日本中学生大会に出場します。
- (2) 運営規定の~~~~~については、参加状況に応じて変化します。大会当日監督会にて連絡いたします。ご了承下さい。